

# Plain language summary Crime and Justice

バイスタンダープログラムは居合わせた人の介入を増加させるが、 性的暴行の加害には効果がない



バイスタンダー性的暴行防止 プログラムは、性的暴行を目 撃したときに若者が介入する ことを奨励する

## このレビューの目的は何か?

このキャンベル系統的レビューでは、性的暴行やその兆候サインを目撃した際のバイスタンダー介入、性的暴行の加害行為に関する知識や態度に対するバイスタンダープログラムの効果を検討する。レビューでは、21のランダム化比較試験を含む27の質の高い研究からエビデンスをまとめている。

バイスタンダー性的暴行防止プログラムは、バイスタンダー介入に有益な効果があるが、性的暴行の加害者 への効果を示すエビデンスはない。知識と態度に対す る効果は、結果を通して一貫性がない。

### このレビューの内容は何か?

性的暴行は、世界中の思春期の若者や大学生の間で深刻な問題となっている。これらの性的暴行を防止するための有望な戦略の1つは、バイスタンダーによる性的暴行防止プログラムの実施であり、これは性的暴行の事件や警告の兆候を目撃した際に若者に介入を促すものである。このレビューでは、バイスタンダープログラムが、性的暴行やバイスタンダー行動に関する知識や態度、性的暴行やその兆候サインを目撃した際のバイスタンダー介入、参加者の性的暴行の加害率に与える効果を検証する。

## どのような研究が含まれているか?

このレビューには、(1)性的暴行とバイスタンダー介入に関する知識や態度、(2)性的暴行やその兆候サインを目撃した際のバイスタンダー介入行動、(3)性的暴行の加害に及ぼす青少年のバイスタンダープログラムの効果を評価した研究が含まれている。

27件の研究が算用基準を満たした。これらの研究は 1997年から2017年までの期間に行われ、主に米国 で実施された(カナダで1件、インドで1件の研究が実施 された)。21件の研究は無作為化比較試験であり、6 件は質の高い擬似実験的研究であった。

バイスタンダープログラムは、知識や態度、バイスタンダー介入、性的暴行の加害者に影響を与えるか? バイスタンダープログラムは、いくつかの結果に対して知識や態度に影響を与える。

また、介入・行動の責任を取ること、介入のための戦略を知ること、介入の意図を知ることの結果にも遅延効果(介入後1~4ヵ月)がある。ジェンダーの態度、被害者の共感、デートレイプの態度、性的暴行の結果を認知することについての効果のエビデンスはほとんどないか、あるいは全くない。

バイスタンダープログラムはバイスタンダー介入に有益な効果をもたらす。バイスタンダープログラムが参加者の性的暴行の加害率に効果があるというエビデンスはない。



# このレビューがどれぐらい最新のものか?

レビュー執筆者は2017年6月までの研究を探索した。このキャンベル系統的レビューは、2017年10月に投稿、2018年10月に修正、2019年1月に公開した。

# キャンベル共同計画とは何か?

キャンベル共同計画は、系統的レビューを公開している、国際的・自主的・非営利の研究ネットワークである。我々は、社会および行動科学のプログラムに関するエビデンスの質を評価し、まとめている。我々の目的は、人々がより良い選択そして政策決定ができるように手助けをすることである。

### この要約について

この要約は、Heather Hensman Kettrey、Robert A. Marx, Emily E. Tanner-Smith によるCampbell Systematic Review 2019:1「Effects of bystander programs on the prevention of sexual assault among adolescents and college students: a systematic review」(DOI 10.4073/csr.2019.1)の著者らによって作成されたものである。この要約は、Tanya Kristiansen (Campbell Collaboration)によって設計、編集、制作された。この要約の制作にあたりthe American Institutes for Researchからの財政支援に、感謝の意を表します。

# このレビューの知見は何を意味するのか?

アメリカの2013年キャンパス性暴力撤廃法 (SaVE)は、Title IX経済援助プログラムに参加している中等教育機関に、バイスタンダー介入の要素を含む性暴力防止プログラムを、大学に入学する学生に提供することを義務付けている。

バイスタンダープログラムは、バイスタンダー介入に大きな効果がある。しかし、これらのプログラムが性的暴行の加害率に効果があるというエビデンスはない。このことは、バイスタンダープログラムは潜在的なバイスタンダーの行動を対象とする場合には適切かもしれないが、潜在的な加害者の行動を対象とする場合には適切ではない可能性があることを示唆している。

バイスタンダープログラムによるバイスタンダー介入の 有益な効果は、介入後6ヶ月で減少した。よって、持 続的な効果を得るためには、ブースターセッションが 必要であろう。

いまだ調査に値する重要な疑問が残っている。すなわち、バイスタンダー行動に対するプログラム効果の根本的な因果関係のメカニズムを調査し(例えば、特定の知識/態度効果とバイスタンダー介入効果の間の関係をモデル化する)、最も効果的なタイプのバイスタンダープログラムを特定する(例えば、2つの代替プログラムモデルの効果を比較するために無作為化比較試験を使用する)ために、より多くの研究が必要である。さらに、研究者が世界各地でのバイスタンダー・プログラムの役割をよりよく理解できるようにするために、米国以外の文脈でのさらなる研究が必要である。

